



緑丘トピックス

令和2年度
第2号



5月12日(火)発行

Date Midorigaoka High School 北海道伊達緑丘高等学校 TEL/FAX 0142-24-3021



『コロナウイルスに負けない！
～ピンチはチャンスだ！～』

校長 須藤 克志

4月8日学校がスタートしました。長い臨時休校の後、3年生は最高学年として、2年生はクラス替えが行われ、1年生は高校受検を終え気持ちを一新してと、各学年様々なスタートを切ることが出来ました。入学式は生徒のみ、始業式・着任式は放送、対面式は中止（一度に集まる人数はひと学年のみとしました）になる等、制限のある中で学校の始まりとなりましたが、学校がようやく始まることには安堵しています。しかし、再度臨時休校となり、なかなか本格的な学校生活が始まるまでには至っていません。生徒、保護者の皆さんはこの先どうなっていくか不安でしょうが、今は6月からの学校再開に向けて前向きに考えて行きたいと思います。

コロナウイルス感染は、東京で爆発的に広がり、北海道では第2波が来るなど、まだまだ収束の兆しは見えていません。再度の臨時休校に伴い、各種行事の中止や延期、部活動の禁止、GWの外出禁止の要請など今後の展望が見えない状況が続いています。オリンピックが延期になったニュースは遠い昔の気がします。また、運動系の部活動においては、今年度のインターハイ、全道大会、支部大会の開催中止が決定し、これまで大会に向けて部活動に励んできた皆さんの気持ちを考えると、本当に心苦しくなります。学校行事も今後の行方によっては変更され、特に学校祭については開催の有無からの検討になるかもしれません。伊達市はまだ感染が確認されていないことは唯一の安心材料ですが、まだまだ気を緩める時期では決してありません。

さて、このような状況の中で、生徒の皆さんはどんな気持ちで、生活を送っていますか。悲観して、「何も出来ない」「自分たちは被害者」と思っているのも何も始まりません。ここで発想を展開して、この『ピンチ』を『チャンス』に変えていって欲しいと強く願います。『ピンチ』とは、さしせまった事態や危機的状況など追い詰められた苦しい状態を意味しています。そして『チャンス』とは、何かしらの物事を行うにあたって絶好の機会という意味です。つまり『ピンチをチャンス』とは、逆境のような状況を絶好の機会と考えて乗り越えることで、より自分を成長させるという意味です。まさに、今社会が置かれているこの状況であると言えます。もちろんやれることに制限はありますが、最大限出来ることはきっとあるはずです。この期間の過ごし方こそが、これからの皆さんに影響していくことは必須です。自由な時間を有効に使い、これまでの自分を振り返り、学習の遅れを取り戻したり、家族と今後の進路を話し合ったり、いまだから出来ることをやってみてください。そして、今この状況を振り返ったときに、皆さんを大きく成長させた時期だったと胸をはって言えるようになる事を願っています。ちなみに私は、家にいる時間を、忙しくて読めていなかった本をすべて読み、自分自身を高めて行きたいと思っています。

イチロー。

『壁というのは、できる人にしかやってこない。
超えられる可能性がある人にしかやってこない。』

羽生義治

『成果が出ない時こそ、不安がらずに、恐れずに、迷わずに一步一步進めるかどうかが、成長の分岐点であると考えています。』

ど みどり
よい撮い緑 4月

◆◇ 入学式～4月8日～ ◇◇



1 学年担任団



1 年B組ホームルーム風景

5 月行事予定

日	曜	行	事	予	定
1	金	コロナ感染症対策のため臨時休校の予定			
2	土	憲法記念日			
3	日	みどりの日			
4	月	こどもの日			
5	火	振替休日			
6	水				
7	木				
8	金				
9	土				
10	日				
11	月	コロナ感染症対策による臨時休校のため 行事予定が大きく変更しています。 分散登校・分散授業・ 学校再開日等、ホームペ ージやマチコミをチェック してください。			
12	火				
13	水				
14	木				
15	金				
16	土				
17	日				
18	月				
19	火				
20	水				
21	木				
22	金				
23	土				
24	日				
25	月				
26	火				
27	水				
28	木				
29	金				
30	土				
31	日				

